

鰯 ぶり り



ブリの網付け漁

(写真提供 鹿児島県水産振興課)



社団法人 日本水産資源保護協会

〒104 東京都中央区豊海町4番18号

東京水産ビル6階

TEL (03) 3534-0681 3533-5401

FAX (03) 3532-0195 3534-0684

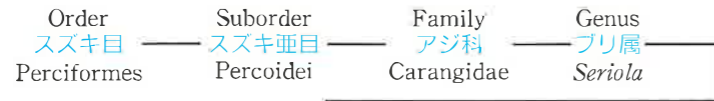


(水中写真撮影 横井孝志)



世界のブリ類

ブリ類の分類



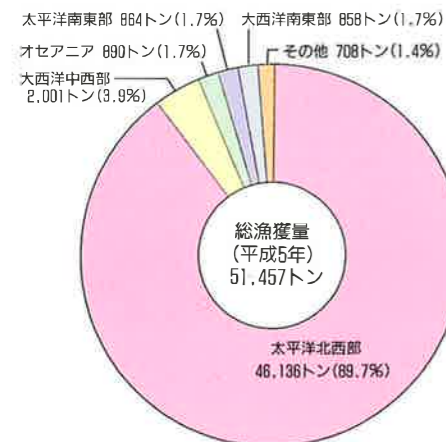
種名	和名・英名	分布・漁獲量など
<i>Seriola quinqueradiata</i>	(和)ブリ (英) Yellowtail, Amberjack	分布：北西太平洋 温帯域(日本、朝鮮半島) 体長約1.5m 漁獲量：北西太平洋 約4万6,000トン(日、韓)
<i>Seriola lalandi</i>	(和)ヒラマサ (英) Yellowtail, Greater amber-fish, Amberjack, (豪,N.Z.) King fish	分布：北西太平洋 温・熱帯域(日本、ハワイ) 大西洋 温・熱帯域(西インド諸島、南アフリカ) 体長約2m 漁獲量：南西大西洋 24トン、南東大西洋 858トン(南ア)
<i>Seriola dumerili</i>	(和)カンパチ (英) Greater amberjack, Rudder fish, Yellowtail	分布：太平洋 温・熱帯域(日本、ハワイ、豪州) 大西洋 温・熱帯域(合衆国北東岸~カリブ海~ブラジル、ビスケー湾~ギニア湾) 地中海 インド洋(南アフリカ) 体長約2m 漁獲量：地中海 296トン
<i>Seriola rivoliana</i>	(和)ヒレナガカンパチ (英) Almaco jack, Blue fish	分布：北西太平洋 温・熱帯域(日本、ハワイ) 大西洋 温・熱帯域(マデイラ諸島~南アフリカ、合衆国北東岸~カリブ海~アルゼンチン北岸)、地中海 インド洋 体長約1m
<i>S. songoro</i>	Songoro amberjack	
<i>Seriola zonata</i>	(英) Banded rudderfish, Rudderfish, Yellowtail	分布：大西洋 温・熱帯域(合衆国北東岸~カリブ海~ブラジル、ポルトガル~南アフリカ) 体長約1m
<i>Seriola fasciata</i>	(英) Lesser amberjack	分布：大西洋 熱帯域(メキシコ湾~西インド諸島) 体長約70cm
<i>Seriola dorsalis</i> <i>S. grandis</i>	(英) California yellowtail (豪) Yellowtail, king-fish	分布：太平洋 温・熱帯域(合衆国南西沿岸・豪州)
<i>Seriola hippos</i>	(豪) Samsonfish	分布：南太平洋(豪州)

(漁獲量はFAOによる平成5年のもの)

世界のブリ類の種類と分布

ブリ類は世界の温帯・熱帯海域の沿岸に分布しています。日本近海ではブリ (*Seriola quinqueradiata*) が最も多く分布しており、この種類は北西太平洋以外には分布していません。ヒラマサ (*S. lalandi*) は太平洋と大西洋の東西両岸に分布しており、カンパチ (*S. dumerili*) は太平洋・大西洋の東西両岸の他に地中海やインド洋にも分布しています。ヒレナガカンパチ (*S. rivoliana*) は太平洋と大西洋の東西両岸および地中海に分布していますが、インド洋に分布する *S. songoro* も同一種とみられています。

日本に分布していないブリ類のうち、*S. zonata* は大西洋の東西両岸、*S. fasciata* は大西洋西岸に分布しています。*S. dorsalis* は北米太平洋岸、同種とみられている *S. grandis* は豪州に分布しており、また、*S. hippos* は豪州にだけ分布しています。



世界のブリ類の漁獲量

平成5年の世界のブリ類の漁獲量は5万1,457トンですが、そのうちの約90%に当たる4万6,136トンは日本近海の北西太平洋で漁獲されています。

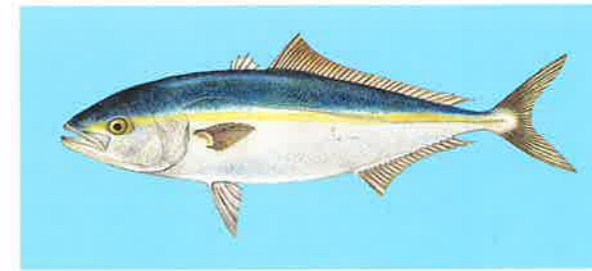
北西太平洋以外の海域ではブリ類の漁獲量は非常に少なく、大西洋では中西部で2,001トン、南東部で858トン。オセアニアでは890トン、南東太平洋では864トン、インド洋西部で359トン、地中海で302トンなどとなっています。

国別では、日本が世界の84%に当たる4万3,248トンを漁獲しており、2位の韓国の2,893トン (5.6%) を大きく引き離しています。3位は米国の1,631トンでその他の国ではパナマ864トン、南アフリカ858トン、ニュージーランド489トン、豪州408トンが目立つ程度です。

なお、このほかに養殖の生産量が日本で14万1,646トン(平成5年)あります。

(FAOの漁獲統計は種不明分があるので上の表と文中の漁獲量は一致しません。)

日本のブリ類



ブリ *Seriola quinqueradiata*

北海道襟裳以東海域および琉球列島を除く日本沿岸と朝鮮半島の東岸に分布しています。

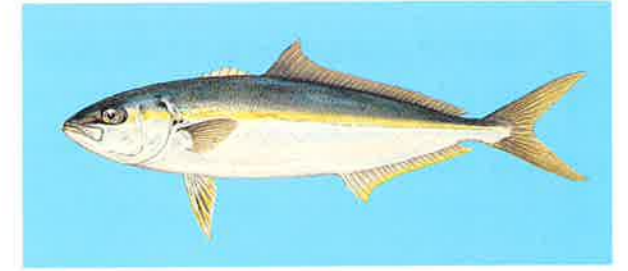
全長約1.5メートルに達する大きさになります。幼魚は流れ藻につくのでモジャコと呼ばれ、以後大きくなるにつれてツバス、ハマチなどと呼び名が変わるので出世魚といわれています。

沿岸の岩礁域を回遊し、日本沿岸に來遊するブリ類のうちでは最も多く、主に定置網やまき網、釣りなどで漁獲されます。

旬は冬で、寒ブリとして珍重されており、刺し身、照り焼きなどで賞味されます。

また、ブリの幼魚を獲って大きく育てるハマチ養殖が中部日本以南で盛んに行われています。

(ブリの生態は5~6ページに詳しく載せてあります。)



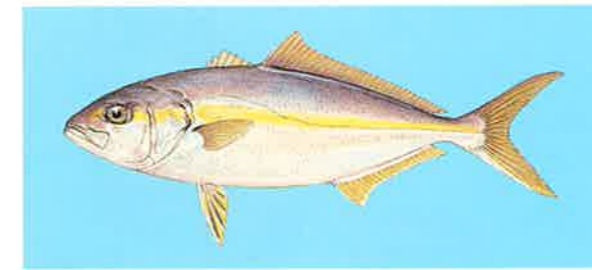
ヒラマサ *Seriola lalandi*

北海道および琉球列島を除く日本沿岸と黄海に分布していますが、ブリよりもやや温暖な海域を好みます。

全長は約2メートルに達する大きさになり、体型はブリよりも細身に側扁して薄く、胸に鮮やかな黄色の筋があります。

漁獲量はブリに比べて少なく、沿岸で主に釣りや定置網で混獲されます。

旬は夏で、刺し身、塩焼き、照り焼きなどで賞味され、西日本ではヒラスと呼ばれて料亭などでは高級魚として珍重されています。



カンパチ *Seriola dumerili*

本州の中部海域より南の温・熱帯海域に分布しています。全長は約1.5メートルに達する大きさになり、体型はブリやヒラマサに比べ丸みを帯びて体高が高く、側扁して薄くなっています。

主な産卵場は中国南部など亜熱帯~熱帯海域といわれています。

西日本ではアカバナと呼ばれ、釣や定置網でブリに混じって漁獲されます。また、沖縄ではウチムルと呼ばれています。

旬は夏から秋ですが、肉質が良く漁獲量が少ないので高級魚として刺し身、すしだねなどで賞味されます。

近年、中国南部から稚魚を輸入して育てるカンパチの養殖が日本南部沿岸で盛んになってきました。



ヒレナガカンパチ *Seriola rivoliana*

南日本から熱帯域に分布しています。

全長は1メートルに達する程度で、他のブリ類に比べて大きさはやや小ぶりです。体型はカンパチよりもさらに体高が高く丸みを帯び、側扁しています。第二背びれと臀びれの軟条が長いのでヒレナガと呼ばれています。

琉球列島では釣り・延縄で漁獲されていますが漁獲量はあまり多くありません。

* ヒラマサ、カンパチ、ヒレナガカンパチは日本沿岸の漁獲が少なく、その生態はブリに比べて知見が少ないため、分布、回遊、産卵、成長などの詳しいことは、まだよく分かっていません。

写真は阿部宗明著：原色魚類検索図鑑(昭和38年3月30日北隆館刊)より引用